

おばま 市議会だより

No. 164

5月臨時会・6月定例会の概要…………… P2
市政を問う！一般質問…………… P8

5月臨時会の概要

令和2年第2回臨時会が、5月18日に行われました。

今臨時会では、コロナ

ウィルス感染症対策に係る補正予算を審議し、原案のとおり可決されました。その他、専決処分承認を求める議案7件、報告1件、その他議案1件が提出され、慎重に審査しました。

●主な条例

◆小浜市市税条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆小浜市都市計画税条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆小浜市介護保険条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆小浜市手数料条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆小浜市国民健康保険条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆小浜市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
賛成全員で可決

◆専決処分につき承認を求めることについて
賛成全員で可決

◆小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
賛成全員で承認

●市会案

◆小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
賛成全員で可決

●人事案件

◆教育委員会委員の任命について
桂田 理津子氏(不償出)
賛成全員で同意

◆公平委員会委員の選任について
澤田 收一郎氏(野代)
賛成全員で同意

◆農業委員会委員の任命について
早 俊夫氏(相生)
西田 尚夫氏(三分一)
河嶋 幸男氏(蘆丁)
東 清俊氏(下田)
松尾 志信氏(竹長)
赤尾 裕子氏(木崎)
和田 千代氏(下根来)
岡田 昌樹氏(野代)
松井 和幸氏(岡津)
福永 吉孝氏(熊野)
賛成全員で同意

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について
高島 佐太一氏(太良庄)
賛成全員で同意

●条例

◆専決処分につき承認を求めることについて
(小浜市市税条例等の一部改正について)
賛成全員で承認

◆専決処分につき承認を求めることについて

●報告

◆議会の委任による専決処分の報告について
(損害賠償の額を定めることについて)

●その他

◆財産の取得について
賛成全員で可決

6月定例会の概要

令和2年第3回定例会が6月4日から6月26日まで会期で行われました。

今定例会では、各会計の補正予算をはじめ、条例議案9件が提出され、原案のとおり可決されま

した。また、小浜市が出資している企業の経営状況の報告3件や、その他報告4件、専決処分の承認を求める議案2件、人事案件13件が提出され、慎重に審査しました。

【可決した令和2年度補正予算】

会計名	既決予算額(※1)	5月補正額	合計(※3)
一般会計	188億706万円	3億7,900万円	191億8,605万円
特別会計	75億4,965万円		75億4,965万円
企業会計	34億2,446万円		34億2,446万円
合計(※3)	297億8,117万円	3億7,900万円	301億6,017万円
会計名	既決予算額(※2)	6月補正額	合計(※3)
一般会計	191億8,546万円	3億2,504万円	195億1,050万円
特別会計	75億4,965万円	267万円	75億5,232万円
企業会計	34億2,446万円		34億2,446万円
合計(※3)	301億5,957万円	3億2,771万円	304億8,729万円

※1: 専決処分(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第1号)～(第3号))の30億6,906万円の増額を含みます

※2: 専決処分(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第5号))の59万円の減額を含みます

※3: 端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

令和2年第2回(5月)臨時会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和元年度小浜市一般会計補正予算(第9号))
	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第1号))
	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第2号))
	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第3号))
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第4号)
条例	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例等の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)
その他	財産の取得について

令和2年第3回(6月)定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	令和元年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	条例	小浜市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
	令和元年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について		災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
	小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について		小浜市国民健康保険税条例の一部改正について
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について	人事	教育委員会委員の任命について(桂田理津子氏)
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について		公平委員会委員の選任について(澤田收一郎氏)
	株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について		農業委員会委員の任命について(早俊夫氏)
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		農業委員会委員の任命について(西田尚夫氏)
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第5号))		農業委員会委員の任命について(河嶋幸男氏)
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第6号)		農業委員会委員の任命について(東清俊氏)
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		農業委員会委員の任命について(松尾志信氏)
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		農業委員会委員の任命について(赤尾裕子氏)
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第7号)		農業委員会委員の任命について(和田千代氏)
条例	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について)		農業委員会委員の任命について(岡田昌樹氏)
	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	農業委員会委員の任命について(松井和幸氏)	
	小浜市市税条例の一部改正について	農業委員会委員の任命について(福永吉孝氏)	
	小浜市都市計画税条例の一部改正について	固定資産評価審査委員会委員の選任について(高鳥佐太一氏)	
	小浜市介護保険条例の一部改正について		
	小浜市手数料条例の一部改正について		
	小浜市国民健康保険条例の一部改正について		

委員会審査 (5月臨時会)

予算決算常任委員会 (5月補正)

◆新型コロナウイルス 感染症対応地方創生 臨時交付金

1億4944万1000円

問 国から交付金を受けるために必要となる実施計画の内容は。

答 おうちでご飯・子育て世帯応援事業、市外でがんばる小浜の若者・食で応援事業、中小企業休業要請協力金の3事業と、本補正予算で計上した、小浜市持続化給付金給付事業、地域を支える「おばまチケット」循環事業の2事業を加えた計5事業、総額にして約4億4000万円の計画を策定し、国に提出した。そのうち、今回の2事業に交付金を充当した。

◆小浜市持続化給付金 給付事業

2億527万9000円

問 給付金の対象となる

事業者は。

答 中小企業については本市に本社を置く事業者、個人については本市に事業所を有する者、フランチャイズについては市民が事業主であることとし、業種等は国の給付金の対象と同様である。

問 国の持続化給付金ならびに県の中小企業休業要請協力金とのすみ分けは。

答 市の持続化給付金は4月または5月の売り上げについて、前年度比20%以上50%未満減少した事業者を対象としたものであり、当該月以外(6月以降)については国の給付金制度の対象となった場合に給付を受けることは可能である。県の中小企業休業等要請協力金は当事業と目的が異なり、どちらも受給が可能である。

問 給付申請に対する審査方法は。

答 確定申告等により売り上げ等を確認するなど、適正な給付となるよう対応をしていく。

◆地域を支える「おばまチケット」循環事業 1億7239万6000円

問 事業費の内訳は。

答 チケットの助成に要する経費以外は、振込手数料が大半であり、その他はスタンプリーパー等にかかる経費。

問 チケット購入率の見込みは。

答 2019年度の低所得者を対象としたプレミアム商品券は50%の購入率であったが、購入率が100%であった2015年度のプレミアム商品券同様、できる限り多くの方に購入いただけるよう周知したい。

総務民生常任委員会

◆議案第43号 財産の 取得について

説明 中型路線バスディーゼル車営業用四輪を1台取得するもの。

問 今回購入するバスの仕様と指名競争入札の概要は。

答 車種は中型バスであり、仕様は、バスの寸法や、床の形状がノンステッ

プであることなど。入札には4社を指名し、3社が応札した。

問 従来はリース契約の中で保守管理を行っていたが、購入後のバスの保守管理の方法は。

答 購入後にあいあいバス運行協会と賃貸契約を締結し、その中で保守管理について規定する予定。

委員会審査 (6月定例会)

予算決算常任委員会 (6月補正)

◆生活困窮者自立相談 支援事業

140万4000円

問 住居確保給付金の受給資格者拡充の給付要件として算定する収入の種類と預貯金額等確認方法は。

答 アルバイト収入や失業給付金、児童扶養手当、年金等を収入に算定するが、臨時的で不安定な収入は算定しない。預貯金額等の確認は自己申告時に預金通帳などを確認する。

◆予防接種事業 352万7000円

問 自己負担が発生する任意接種であったロタウイルスワクチンが令和2年10月から公費負担の定期接種に変更となるが、その対象者は。

答 定期接種は、令和2年8月以降に生まれた者が対象となり、同年7月までに生まれた者が10月以降に接種しても対象外となり自己負担が発生する。

問 外部委託されることに伴う給食調理費の値上げおよび今後の自校式地産学校給食の方針は。

答 現在、学校給食は食材にかかる費用を保護者から負担いただいているが、委託料増額に伴う給食調理費の値上げは考えていない。給食調理費の徴収や調理物の検収は従来どおり学校で対応するが、市による地場産食材を取り入れた献立作成や食材の発注指示などを徹底し、自校式地場産学校給食の継続を大前提に、安全・衛生面を確認しながら、質の低下を招かないよう丁寧に対応していく。

◆中学校管理諸経費 1275万2000円

説明 安定した給食の提供と学校給食調理員の欠員に対する人員確保のため、学校給食調理業務委託料の増額と2学期以降の報酬を減額するもの。

問 外部委託されることに伴う給食調理費の値上げおよび今後の自校式地産学校給食の方針は。

答 現在、学校給食は食材にかかる費用を保護者から負担いただいているが、委託料増額に伴う給食調理費の値上げは考えていない。給食調理費の徴収や調理物の検収は従来どおり学校で対応するが、市による地場産食材を取り入れた献立作成や食材の発注指示などを徹底し、自校式地場産学校給食の継続を大前提に、安全・衛生面を確認しながら、質の低下を招かないよう丁寧に対応していく。

◆ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業
3056万1000円

問 基本給付分については対象者や基準が明確であるが、追加給付分の要件が、収入が大きく減少した世帯と分かりにくい。収入減少率等の基準は。

答 国に確認したが、現時点において数値的な基準はない。国は当事業により、広く速やかにひとり親世帯の救済を行うことを目的としており、申請においては証拠書類などの提出は求めず、簡易な書面の提出により確認を行う。

◆公営住宅管理経費(臨時)
83万3000円

問 当住宅は離職者および災害被災者に対して一時的に提供する施設といたつことだが、対象者がおらず使用しない期間はある。本来の市営住宅入居希望者に貸与するなどの活用は。

答 今回の施設の整備は一時的な使用に必要な修繕にとどめており、長期

的な入居を希望される方の入居は想定していない。

総務民生常任委員会

◆議案第49号 小浜市
市税条例の一部改正
について

問 新型コロナウイルス感染症等に係る寄附金税額控除の特例について、その手続きの方法は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止等になった、文化芸術・スポーツイベントの入場料金等の払戻請求権を放棄した場合は控除が受けられる。手続きについては、イベントを中止した主催者から、当該イベントが本条例の対象となっている旨の指定行事証明書と、払戻請求権放棄証明書との交付を受け、確定申告の際に添付する必要がある。

◆議案第51号 小浜市
介護保険条例の一部
改正について

説明 介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令

の一部を改正する政令の施行により、令和2年度からの消費税率10%引き上げの満年度化に伴う第1号被保険者の保険料軽減を完全実施すること、および新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した被保険者等の保険料を減免することについて、所要の改正を行うもの。

問 介護保険料軽減強化が完全実施となった場合の所得区分第2段階について、政令で定める標準とする保険料率と本市の保険料率に差がつけられている理由は。

答 第1段階は0.15、第2段階は0.25、第3段階は0.05と、政令で定める標準とする保険料率に示された軽減幅分を、本市の保険料においても軽減するものであるが、平成30年度からの3か年を計画期間として策定した、第7期介護保険事業計画で、軽減前の所得区分第2段階の本市の保険料率を、政令で定める標準の保険料率よりも0.05低く設定したため。

◆議案第53号 小浜市
国民健康保険条例の
一部改正について

説明 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する救済措置として、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金を創設するため所要の改正を行うもの。

◆議案第54号 小浜市
後期高齢者医療に関する条例の一部改正
について

説明 議案第53号と同様の救済措置に関する事務を規定するもの。

問 傷病手当金を受給するための手続きの要否は。

答 受給するためには申請が必要であるため、制度の周知を徹底したい。

◆議案第57号 小浜市
国民健康保険税条例
の一部改正について

説明 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の国民健康保険税を減免することについて、所要の改正を行うもの。

問 減免を受けるには申請が必要であることから、申請漏れを防ぐために、改正内容を対象者に周知する方法は。

答 市のホームページ、広報おばまに掲載を予定している。また、有効期限満了に伴い郵送する新たな被保険者証に、改正内容を記載したパンフレットを同封する予定である。

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝い、花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。



小浜市ホームページ
(国民健康保険税の減免
について)

総務民生常任委員会 所管事務調査報告

本委員会では、平成30年度のコミュニティセンター検討委員会の立ち上げを受け、公民館のコミュニティセンター化により、市民サービスの低下を招くことがないよう、移行に伴う課題と対策について調査研究を進めてきました。調査過程としては担当課へのヒアリング、先進地視察の実施・検証、その後の委員間討議などを経て、現場の声をもとにまちづくり協議会の利点と課題を確認し、協議したうえ最終的に次の3点について提案しました。

①コミュニティセンターへの移行の際には、現在、公民館で取り組んでいる業務を改めて整理し、必要に応じて、事務局として受け持っている各種団体の事務

②ふるさと未来づくり協働推進事業交付金については、交付金に含有されている事業を見直すとともに、人口規模やこれまでの活動実績を踏まえたものとし、積極的なまちづくり活動が評価されていることを市民が実感できる明確な算出基準を設定すること。

③職員アイデア事業「地区まちづくり協議会参画事業」について、予算を伴わない事業であっても事業の評価を実施し、市職員がまちづくり協議会をはじめとした地区のまちづくり活動に積極的に参画できる体制を構築すること。

以上の本委員会の調査報告が真摯に受け止められ、施策推進の一助となり、市民の笑顔が絶えない、住みよき魅力ある小浜市になることを期待します。



※調査報告書は市議会ホームページにて公表しておりますのでご覧ください。



市議会ホームページ
(所管事務調査報告)

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

4月

日	曜	行事等内容	出席者
3	金	総務民生常任委員会、議会報告会連絡会、小浜市議会災害対策連絡会議	関係議員
10	金	全員協議会	全議員
13	月	総務民生常任委員会	関係議員
14	火	地域防災・原子力安全対策特別委員会、広報委員会	関係議員
17	金	議会運営委員会	関係議員

5月

日	曜	行事等内容	出席者
1	金	各派代表者会	関係議員
12	火	全員協議会	全議員
15	金	議会運営委員会	関係議員
18	月	令和2年第2回臨時会、予算決算常任委員会、全員協議会	全議員
		総務民生常任委員会	関係議員
21	木	株式会社まちづくり小浜取締役会・株主総会、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜株主総会	議長
22	金	各派代表者会	関係議員
23	土	小浜市議会防災訓練	全議員
25	月	議会運営委員会	関係議員
26	火	全員協議会	全議員
		各派代表者会、広報委員会	関係議員

6月

日	曜	行事等内容	出席者
2	火	各派代表者会	関係議員
4	木	令和2年第3回定例会、予算決算常任委員会、全員協議会	全議員
		議会運営委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
8	月	総務民生常任委員会・分科会	関係議員
9	火	産業教育常任委員会・分科会	関係議員
10	水	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議	副議長
18	木	令和2年第3回定例会(一般質問)	全議員
19	金	令和2年第3回定例会(一般質問)	全議員
		総務民生常任委員会、広報委員会	関係議員
22	月	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
23	火	予算決算常任委員会、第6次小浜市総合計画調査特別委員会	全議員
		産業教育常任委員会	関係議員
25	木	議会運営委員会	関係議員
26	金	令和2年第3回定例会、予算決算常任委員会、第6次小浜市総合計画調査特別委員会、全員協議会	全議員
		議会運営委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会	関係議員
30	火	若狭広域行政事務組合協議会(若狭町)	関係議員
		国と地方の協議の場等に関する特別委員会(東京都)	議長

議会における新型コロナウイルス感染症対策

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、議員に感染者が発生した場合の対応および感染拡大防止に向けた議会運営について、議会運営委員会等で協議し、5月臨時会および6月定例会において対策を講じました。

●感染者発生時の初動対応等

議員本人または同居家族に感染の疑いがある場合、また、感染者あるいは濃厚接触者と認定された場合に備え、連絡体制の確立および議員の行動歴を確認することなどの初動対応を協議し、感染拡大防止に向けた対応について全議員の共通認識を徹底しました。

●会議運営における基本的な対策

- ・定期的な消毒の実施
- ・会議室の出入り口に消毒液を設置
- ・出席者のマスクの着用
- ・換気の徹底
- ・風邪の症状がある場合は欠席をする
- ・通常より広い会議室を使用し、一部の会議は2部屋に分かれ、



会議室を分散しテレビ会議を実施

- ・テレビ会議を実施
- ・控室での会話を控えるなど

●本会議での対策

- ◆議場
 - ・議場出席者の席の間隔を空けて着席
 - ・市長以下職員の出席者数を最小限に絞る
 - ・採決表示システムが使用できなくなるため、挙手採決(一部の議案については起立採決)を実施



距離を確保した配置

◆傍聴者(席)

- ・検温、マスク着用などの注意喚起を実施
- ・傍聴席の間隔を空けるため、一部の席について使用を制限など

*なお、一般質問(P8以降参照)は3密回避などの対策を徹底した上で通常どおり実施し、市の新型コロナウイルス感染症対策などについて市政を問いました。

議員報酬の削減について

7月～9月の議員報酬を削減します

小浜市議会では、新型コロナウイルス感染症の市民への影響を踏まえ、感染防止や経済支援対策の財源を確保するため、執行機関が行う既決予算の見直しの一環として、令和2年7月から同年9月までの間に支給する小浜市議会議員(議長、副議長、各議員)の報酬の額を10%削減する条例の改正を行いました。



今月の表紙

アジサイと羽賀寺

アジサイに包まれた古刹を紹介します。古都京都や奈良の文化財関係者に絶賛されている小浜市の歴史文化に触れてみませんか？

※表紙は複数の写真を組み合わせて作成しています

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか？

小浜市議会だよりの表紙写真募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

【応募方法】

・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス

gikai@city.obama.fukui.jp

- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

市政を問う！一般質問

令和2年第3回（6月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 新型コロナウイルス感染症対策と財源について	坂上 和代	1. 高齢者家族等弱い立場の市民への支援策は 2. 市営住宅家賃の減免について 3. 小学校の統廃合について
牧岡 輝雄	1. 新型コロナウイルス感染症対策について	能登 恵子	1. 環境基本計画からリユースの取り組みを問う
下中 雅之	1. コロナ禍を踏まえた避難所の体制について 2. コロナ禍による相談支援について	佐久間 博	1. 小浜市内の産業について 2. 小浜西組重伝建地区について
小澤 長純	1. 後期高齢者医療制度について	杉本 和範	1. コロナ影響調査と回復期地域内経済の方向性 2. スマートシティ化への取り組みについて 3. 保育従事者への手当てについて
東野 浩和	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 有害鳥獣対策について	熊谷 久恵	1. コロナを教訓にして小浜市をワンチームに

問 新型コロナウイルス感染症対策の基本的な考え方を伺う。
 答 現在世界で感染者数が800万人に達し国内でも約1万7千人が感染確認され、ウイルスとの闘いは短期間での終息を見込めず長期戦を覚悟する必要があります。給付事務など全力で取り組み、国、県の支援の対象外について市独自の対策を講じるなど社会経済活動の回復に全力で取り組む。

問 実施した具体的な対策の推進体制は。
 答 3月19日に市長を本部長とする感染症対策本部を設置。4月9日に副市長を委員長とし、関係部課長と商工会議所とで構成される緊急経済対策チームを設置。4月14日に感染症対策総括チームを設

置。4月25日に特別定額給付金を早く届けられる様に専門の支援チームを編成した。
 問 対策事業の事業費はいくらか。
 答 16事業で総額34億2459万円予算化した。「特別定額給付金給付事業」「小浜市持続化給付事業」「地域を支える『おばまちケツト』循環事業」児童手当受給者1人1万円を給付する「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」等々の事業費。



風呂 繁昭 議員

コロナ対策財政調整基金約3億円で対応

問 国庫支出金約29億7100万円、地方創生臨時交付金約1億4900万円等、国からの交付金を差し引くと市単独の持ち出しは約3億円であるが、財政調整基金の残高は。
 答 令和元年度残17億7千万円で令和2年度当初予算約1億7千万円と今回の新型コロナウイルス感染症対策費約3億円を取り崩して、現在約13億円となる。

問 学校再開後の教育現場の現状を伺う。
 答 6月1日から学校を再開できたことで、児童生徒の元気な姿が戻ってきた。学校の再開に向けては、5月中に順次、分散登校や全校登校日を入れて再開に備え、「3密」を回避するなど感染症対策を再確認し混乱なく再開できた。

問 健康面の指導は。
 答 気温が高くなる時期を迎え、熱中症に加え体温の上昇など、健康面での不安もあり、エアコンを使用して適切な学習環境を整えていくほか、学習活動中に時マスクを外すことやフェイスシールドの着用など、さらに有効な対策を講じていく。また、児童生徒の心のケアも大変重要と考えており、担任や必要に応じてスクールカウンセラーなどの面談も適宜実施していきたい。

問 学校のカリキュラムについて伺う。
 答 授業時間の確保や感染防止の観点から教育委員会として今年度は次の点を変更した。
 ①例年の3学期制を2学期制とし、前期は4月1日から9月30日、後期は10月1日から3月31日とする。
 ②夏季休業を8月8日から8月23日までの16日間、冬季休業を12月26日から1月4日までの10日間に短縮する。



牧岡 輝雄 議員

新型コロナウイルス感染症学校教育対策

③教育委員会主催の「小中学校陸上記録会」、「小中音楽会」を中止する。
 以上3点を踏まえ、授業日数を確保するとともに、教育的価値の高い活動は何かを学校と十分協議し、今年度の教育活動に取り組んで行く。

セラーなどの面談も適宜実施していきたい。

おばま市議会だより 2020.7.22 No.164 ⑧

一般質問



下中 雅之
議員

問 本市において、新型コロナウイルスの感染者は出てはいるが、今後、感染拡大の第2波・第3波が懸念される中、これから本格的な台風シーズンを迎え、大規模な災害が発生した場合、通常時と比較すると可能な限り多くの避難所の開設も必要と想定されるが、本市の考えを伺う。

答 本市では、ここ数年の台風災害時においては、すべての指定避難所を毎回開設するのではなく、台風の予想進路や予想降水量等の状況に応じて開設する避難所をその都度選定し、開設してきた。しかしながら、今年度については、新型コロナウイルス感染症への対応として、避難所が過密状態にならないよう可能な限り多くの

現場のニーズを反映した政策を全力で！

問 避難所の開設が必要であり、原則、すべての避難所を開設したいと考えている。

問 コロナ禍の影響により、生活に困っている人の相談先として「自立相談支援機関」があるが、家計や仕事など生活に関する困りごとに幅広く対応されているのかを伺う。

答 本年4月より小浜市社会福祉協議会へ委託し「小浜市自立促進支援センター」として新たにスタートした。支援センターでは経済的な相談だけでなく、生活の相談や心身の相談など、生活に関するあらゆる困りごとの相談に応じている。相談員は、相談者が抱える課題の抽出や要因の分析を行った上で解決の方向性を見定め、「支援計画」を相談者との協働によって作成し、関係者による支援調整会議にて決定後、自立に向けた支援を行う。



小澤 長純
議員

問 後期高齢者への医療給付は、後期高齢者自身の保険料で1割、現役世代からの支援金で4割、公費で5割となっているが、上昇率を伺う。

答 創設時から、後期高齢者自身の保険料で11.2%、現役世代からの支援金で33%、公費で43%上昇している。

問 2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、後期高齢者医療費の増大が予想されるが、市としての認識を伺う。

答 現役世代の負担が大きく上昇することが想定されるが、これを抑えながら全ての世代が安心できる制度の構築が必要であり、市としても、被保険者や現役世代にとつて大幅な負担増とならないための取組み

後期高齢者医療制度は維持していける？

が必要と考えている

問 この制度を維持していくための対策としては、まずは公費での負担を増やす方向を考へるべきであり、医療給付費の抑制をいかに進めるかが重要であるが、対策を伺う。

答 広域連合と連携し取り組んでいる。市では、長寿健康診査事業などにより、生活習慣病の発症・重症化予防及び心身機能の低下防止を図り、医療費の低減に繋げている。

問 今後の高齢者医療のあり方を伺う。

答 きめ細やかな保健事業や介護予防事業を実施し、年を重ねても生き生きと健やかに過ごせる健康長寿延伸のための施策などに取り組みながら、医療費の適正化を図り、持続可能な後期高齢者医療制度となるよう努めてまいりたい。



東野 浩和
議員

問 学校休業期間中において生活環境が違う中、児童・生徒の学習理解度に差が生まれたことを危惧するがその対応は。

答 学校再開後の重要な課題は、感染症対策と健やかな学びの保障である。休業中には家庭訪問を工夫し個別に必要な支援を行い、再開時は校長に個々の状態を把握しながら丁寧に授業を進めるよう、特にお願いした。

問 避難所における感染症対策が全国的に重要課題となっているが、小浜市の考えは。

答 国や県の指針や手引き等を参考に整備を進めている。災害時には原則全ての指定避難所を開設し、避難者の体調管理の徹底、必要な物資の整備を進める。

学校休業中における学習理解度の対応は

問 有害鳥獣による令和元年度の農作物被害および捕獲状況は。

答 農作物の被害額および被害面積は、平成20年度の1740万円（58ha）がピークであり、令和元年度は452万円（7.9ha）であった。捕獲状況は、平成26年度の2535頭をピークに平成30年までは減少傾向であったが、豚熱の発生による捕獲強化を行った令和元年度は、2078頭と前年度より増加した。

問 対策における現状と課題、今後の展望は。

答 行政による「侵入防止対策」、猟友会による「捕獲・駆除」、地域住民による「集落主体の取り組み」の3本柱で取り組んでいる。シカ・イノシシによる被害は減少傾向にあるが、サルについては苦慮しており、住民主体の活動を層推進すると共に、実施中の行動調査を効果的な捕獲につなげていきたい。



坂上 和代
議員

【問】 国民健康保険税(国保税)が高くて払えない世帯があり、コロナで更に深刻化が懸念される。滞納の状況とその世帯への対応を問う。

【答】 26年度と30年度を比較すると、滞納率、資格証明書交付率、短期被保険者証交付率とも減少している。対応は、納税相談の実施、分割納付、1年以内の猶予制度の利用により支援している。

【問】 滞納が減少しているとはいえ、医療機関の窓口で「巨額自己負担しなければならぬ資格証明書」の世帯が20世帯もあることに胸が痛む。受診をためらってしまふ。市の国保条例にある減免の規定、及びこの年度で決まった「緊急経済対策」で国保税免除が決定したことにつ

弱い立場の市民への支援策を問う

【問】 市営住宅の家賃の滞納世帯数とその対応は。

【答】 滞納世帯は年々減少して、令和元年度は70世帯。滞納世帯へは、電話催促、訪問指導(計画的な納付の指導等)や夜間徴収している。また減免制度や住居確保給付金の活用を案内している。

【問】 市長は所信表明で「小中一貫校などの学校統合が進められていることなどを踏まえ、『統合問題検討委員会』を設置し検討を進める」と述べられた。今後の小中学校のあり方は。

【答】 本市はこれまで基本方針として、「学校統合ありき」ではない。小浜美郷小学校開校の検証を行い、子どもが主体の教育活動を地域と協議して行う。



能登 恵子
議員

【問】 新型コロナウイルスでの自粛生活が始まると、深谷のリサイクルプラザに持ち込みゴミが増え作業が危険な状況になったことで、持ち込みが中止となった。その中には、国の統計で10〜20%はまだまだきれいに使える物が多い。循環型社会の構築に、3R「リデュース(ごみを減らす)・リユース(再利用する)・リサイクル(再資源化)」があるが、小浜市の環境基本計画では3Rと書いてあるものの、リサイクルが優先で、アンケートにもリユースの認識がなかった。これからの循環型社会の方向性として、ごみを出さないリデュースが優先で、リユースを活性化させる必要がある。そのためには、小さな活動から

始めるのはどうか、また基本計画の見直しの時期、その中により進めていただきたい。参考に、リユースの市場規模は約3兆1千億円、その可能性や利用者の裾野が広がる可能性大。

【問】 我々が暮らしている社会を将来にわたって持続可能なものとしていくためには「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、生産から流通、消費、廃棄に至るまでモノの効率的な利用等を進め、資源の消費が抑制され、環境負荷が少ない「循環型社会」を形成することが急務となっている。「リデュース」や「リユース」の2Rは、持続可能な社会づくりを進めるうえで重要と認識している。小浜市環境基本計画見直しに当たっては、このような視点を踏まえ審議を考えている。

循環型社会を進めるためリユースを

【問】 新型コロナウイルス感染症拡大による市内事業者への支援規模は。

【答】 福井県の「経営安定資金」「新型コロナ感染症対応資金」70件、融資申込額22億円に迫る最大級になる。

【問】 市の窓口への相談件数と今後の支援は。

【答】 704件となり、相談に応じて支援する。

【問】 休業手当を受けた事業者の状況は。

【答】 県の休業要請に協力いただいた事業者数は229件、4750万円の協力金支払済み。

【問】 学校給食調理の外部委託で地産地消が守れるのかを問う。

【答】 食のまちづくりの理念として、自校式地場産学校給食の維持継続で安心安全に提供する。

【意見】 コロナショックの時こそ、地元業者に発注



佐久間 博
議員

【問】 小浜西組重伝建の12年の歩みに対し、文化庁の評価は。

【答】 地元の住民と小浜西組協議会の人と人の交流を掲げた取り組みが評価されている。

【問】 消火栓と防犯体制の整備の考えは。

【答】 地元の皆さんと安心安全のまちづくりに努めていく。

【問】 重伝建地区保存修理事業補助の申請件数と実施状況は。

【答】 今年度は18件の要望に対し、8件の実施を行う。

【問】 移住希望者増加に伴い、他の予算を活用出来ないか。

【答】 「小浜市住まい支援事業」や文化庁が創設した「美観向上整備事業」の活用を模索していきたい。

地元・食のまち・重伝建を活用しよう！

【問】 まちづくりへの展望は。

【答】 本市が目指す姿「スマート&スロースティイ御食国若狭おばま」の理念のもと、交流人口、定住人口を増やしたい。

一般質問



杉本 和範
議員

問 回復期ウィズコロナ社会におけるこれからの小浜市の地域活性化について市としての方向性を伺う。

答 今回の出来事により国全体としても、都市部への過度な集中の弊害やリスクなどが顕在化するとともに、リモートワーク等の新たなテクノロジーの活用可能性が高まった側面もあると考えている。このような時こそ、地方にもチャンスがあると考え、未来のまちづくりに向けて、若い世代が活躍できるような人材の育成や地場産業の強化、魅力ある働く場所の創出など、中長期的な視点に立った政策を継続していくことも重要であると考えている。

問 コロナ期を経て高まるスマートシティ化への本市の取り組みに

コロナ後の方向性・保育従事者へのケア

職別	金額
医療従事者 感染患者を受け入れた医療機関の医療従事者・職員	20万円
医療従事者 病床を確保した医療機関の医療従事者・職員	10万円
医療従事者 その他の医療機関の医療従事者・職員	5万円
福祉職員 感染者または濃厚接触者に対応した施設の職員	20万円
福祉職員 その他の施設に勤務し利用者との接触を伴うサービスに携わる職員	5万円

問 ついて

答 市として、スマートシティ化について市民の生活状況や社会情勢を見極めながら先端技術等を取り入れていきたいと考えている。

問 保育園等を開所したことに伴う保育従事者への支援(金銭的な支援も含む)について

答 本市としては、保育従事者の身体的、また精神的な負担の軽減を図るため、引き続き保育園等における衛生・安全対策の拡充と柔軟な勤務形態の整備に努めるとともに、今後更に取り得る支援策がないか鋭意検討してまいりたい。



熊谷 久恵
議員

問 小浜市職員心得10カ条の制定目的は。

答 平成21年に市民の視点に立ち市民との信頼関係を構築することを目的に制定。

問 その効果は。

答 全庁体制で経済対策・生活者支援に取り組めたのは、職員心得を実践できた為であり各部各課で職員一丸となつてチームワークで進めていく体制が取れたと考える。

問 評価の判断基準は。

答 市民の声やご意見。さらには効果を出すのに必要な改善策は。

問 改善というよりも今後職員には条項に基づき、常に市民目線市民感覚を第一に業務に取り組んでもらう事。

問 コロナを教訓に小浜市が今以上に市民との信頼関係を築くには

コロナを教訓に、小浜市をワンチームへ

小浜市職員心得 10カ条

- 市民の声を大切に
- 市民の立場で考えます
- 笑顔であいさつ
- 捨てよう その固定観念
- 柔軟であること ただし理念は貫くこと
- 他人の批判より自分の行動
- 行動のないところに結果は生まれない
- 強気で悩まず抱えずみんなで作る
- 最小の経費で最大の効果を
- 何がなにかより何があるかで発想しよう

問 何が必要か。

答 職員一人ひとりが現状に満足することなく市民の声に十分耳を傾け、10カ条を常に意識しながら、これまでに以上に市民に寄り添い信頼関係を築きながら思いを形にしていかなければならないと考える。新しい生活様式により勤務体制や業務を工夫し、市民とのコミュニケーションが不足する事態を避け、新しい働き方を進めることも重要で、固定観念にとらわれることなく、しっかりと市民ニーズを捉え、様々なアイデアを取り入れ柔軟な行動が必要だと考える。

意見 小浜市をさらに良くするには、市民の意見も必要である。

議会を傍聴しませんか？

— 9月定例会の日程 —

- 8月27日(木) 本会議
- 9月10日(木) 一般質問
- 9月11日(金) 一般質問
- 9月17日(木) 本会議
- 10月6日(火) 本会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、変更等が生じる場合があります

編集後記

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間中、感染予防対策や支援対策等にご尽力いただいた方々に深く敬意を表するとともに、市民の皆様には大変な日々を過ごされましたことに、心からお見舞い申し上げます。

今後、コロナ感染拡大防止には、新しい生活様式への移行が必要と考えられます。

市議会は、市民皆様のご意見を伺い市と連携をとりながら、安全・安心な暮らしができるように、今後も引き続き努めてまいります。

(広報委員 川代雅和)

特集 ご利用ですか？無料！！母子健康手帳アプリ

母子健康手帳アプリとは、小浜市が交付する従来の母子健康手帳とあわせて利用する電子版サービスで、妊娠・出産・育児の記録と情報をスマートフォン・PCで管理します。

母子健康手帳アプリの特徴

妊娠中の健康管理

妊婦体重曲線や胎児発育曲線を自動でグラフ化し、子宮底長や胎動、血圧、むくみや尿たんぱくなどを記録できます。

成長記録

出産後は、子どもの体重や身長をグラフ化したり、子どもの写真とともに成長記録として残したりすることができます。

情報共有

2人以上の子どもの情報も管理でき、家族間での情報共有も可能です。

Q&A

Q1: 大切な記録の管理は大丈夫？

A1: 誰でも使える「dアカウント」(*)に登録することで管理しています。安心してご利用ください。(特定非営利活動法人ひまわりの会HPより)

Q2: 母子健康手帳ってどこでどうやってもらえばいいの？

A2: おおむね妊娠6週以降、婦人科で妊娠届出書をもらい、健康管理センターの窓口で手続きすることで交付されます。その際に、アプリの案内もあります。

(※) (株)NTTドコモが提供するアカウント発行サービスで、ドコモユーザー以外の方も利用できます。



バックアップ

災害などで、万が一、母子手帳を紛失した場合のバックアップとなります。



無料ダウンロードはこちら!!

最新の情報

小浜市の子育て支援情報サイト「すくすくおばまっ子」のイベント・講習会情報、子どもの救急に関する情報、施設便利マップなど、最新の情報を受け取ることができます。

すくすくおばまっ子 携帯サイト

お知らせやイベント情報など、小浜市の子育てに関する情報がモバイルでもご覧いただけます!



小浜市は、子育て支援のため県内でもいち早く、平成29年10月より「母子健康手帳アプリ」を導入しました。小浜市議会では、導入から約1年後の平成30年9月定例会の審査で登録状況についての質問をした際には、利用者数が142人となっており、高い評価をいただいているという担当課の回答でした。令和2年5月現在ではユーザー登録者数が246人となっており、ご家族の方も20人が共有して利用されているとのことです。

近年、災害の多発などを背景に、バックアップをはじめとした機能の利便性から、アプリの需要が高まっています。今後も利用者の声を活かし、より使いやすく必要とされるツールとなることを期待しています。

●小浜市議会ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会 HP